

2023年3月度 高島屋店頭売上速報

■ 国内百貨店売上高 (前年比 単位:%)

大 阪 店	+15.1	柏 店 ※1	+2.3
堺 店	△0.8	(株)高島屋各店計	+9.4
京 都 店 ※1	+14.5	(株)高島屋各店計 既 存 店 計 ※3	+10.9
泉 北 店	+0.8	岡 山 高 島 屋	+4.2
日 本 橋 店	+9.0	岐 阜 高 島 屋	+8.9
横 浜 店 ※2	+5.9	高 崎 高 島 屋	+0.7
新 宿 店	+21.7	国 内 百 貨 店 計	+9.1
玉 川 店	+1.6	国 内 百 貨 店 既 存 店 計 ※3	+10.5
大 宮 店	△6.1		

2022年3月から「収益認識に関する会計基準」を適用しておりますが、店頭売上速報で開示する国内百貨店売上高につきましては、従来の基準(総額売上高)で開示しております。

※1 京都店は「洛西店」、柏店は「タカシマヤ フードメゾン おおたかの森店」の売上高をそれぞれ含みます。

※2 横浜店の前年比は、2023年2月に営業を終了した「タカシマヤ フードメゾン 新横浜店」の売上高を含む前年実績との対比です。

※3 2023年1月に営業を終了した立川店の前年実績を控除しています。

■ 概況

○3月度の商品動向は、引き続き高額品が堅調に推移したほか、春物衣料雑貨にも動きがみられました。

さらに免税売上高が押し上げたことにより、店頭売上高は前年実績を上回りました。

店頭売上高	前年比	+9.1%	2019年比	△5.7%
免税売上高	前年比	+276.5%	2019年比	△39.1%
免税を除いた店頭売上高	前年比	+4.7%	2019年比	△2.6%

○店舗別売上高では、大阪店、京都店、泉北店、日本橋店、横浜店、新宿店、玉川店、柏店、岡山店、岐阜店、高崎店が前年実績を上回りました。

○商品別売上高(当社分類による14店舗ベース)では、紳士服、紳士雑貨、婦人服、婦人雑貨、特選衣料雑貨、呉服、スポーツ、リビング、食料品、食堂が前年実績を上回りました。